



市制 70 周年記念式典の開催

平成 23 年 4 月 29 日に開催を予定していましたが「市制 70 周年記念式典」は、東日本大震災で被災された皆様の苦難を考え、更に計画停電等の影響等も考慮し開催を延期しましたが、被災地の人たちを励ますためにも、まず自らの地域が元気にならないと考えると、この度、市制 70 周年記念式典を開催します。

【市制 70 周年記念式典の詳細】

- 1 とき 平成 23 年 7 月 17 日 (日) 13 時 30 分～
- 2 ところ 市民文化会館 (大ホール)
- 3 内容
 - (1) お出迎え 三島囃子保存会・消防ラッパ隊
 - (2) 記念式典
 - ① 開式のことば、② 国歌斉唱、③ 市民憲章唱和、④ 市長式辞、⑤ 市議会議長あいさつ、⑥ 来賓祝辞、⑦ 特別表彰
 - (3) アトラクション
 - ① のびる幼稚園合唱、② 白道保育園鼓笛隊、③ みしまサンバ、④ 農兵節、⑤ 三島市民吹奏楽団

【70 年間の歩み】

ちょうど 70 年前 (昭和 16 年) の 4 月 29 日、三島町と錦田村が合併し、人口 33,533 人の三島市が誕生しました。昭和 29 年に中郷村を編入、現在の市域となりました。

昭和 44 年に、全国で初めての請願駅として新幹線三島駅が開設されるなど、文字通り、富士箱根伊豆地域の玄関口、交通の結節点として、また、県東部の中核的な都市として発展してきましたが、一方では、三島駅前にある「楽寿園」や市街地を流れる「源兵衛川」などの清流、そして箱根西麓の豊かな自然など、水と緑、人と自然が調和し共存する文化と伝統を大切に守ってきました。

【70 周年を契機に】

市制施行 70 年という節目の年を迎え、市では、その喜びを多くの市民の皆様と分かち合うための公開放送等のイベントを数多く企画していますので、ご期待ください。

70 周年を契機に、三島の可能性を引き出し、新しい活力と誇りあるまちづくりを進めていくことを標榜する三つの「みしま」、美しい「み(美)しま」、魅力ある「み(魅)しま」、味わいのある「み(味)しま」を実現するために、市民、NPO、事業者の皆様に参加、協力を頂きながら、協働によるまちづくりを強く進めてまいり所存でございます。



【今後の大きな市制70周年記念イベント】

特別巡回ラジオ体操・みんなの体操会

と き 平成23年9月25日（日）

ところ 市立北小学校グラウンド（雨天時体育館）

第九演奏会

と き 平成23年12月18日（日）

ところ 市民文化会館（大ホール）

NHK「のど自慢」

と き 平成24年2月11日（土）～12日（日）

ところ 市民文化会館（大ホール）

【問い合わせ先】

政策企画課

電話 055-983-2616



“みしまるくん みしまるこちゃん

がんばろう日本！ 応援プロジェクト”

募金活動ステッカー作製

三島市では、“みしまるくん みしまるこちゃん がんばろう日本！応援プロジェクト”を実施します。

震災から3カ月経過し、被災地は復興に向け立ち上がっております。この間には多くの市民や事業者から義援金や支援物資が届けられました。

この程、私たちのできる支援策を続けることに意義があると考え、応援プロジェクトグッズ（ステッカー）を協賛していただいた企業の費用負担で作製し、三島市PTA連絡協議会などが東日本震災からの復興のための義援金を募り、そのお礼にステッカーをプレゼントする等、各募金活動団体において自由に使うことを計画しました。

1 経過

5月2日に清家順 氏（三島市広報戦略アドバイザー）の企画提案を三島市が受け、

5月12日に三島市PTA連絡協議会がこれからの募金活動の協力を受諾。

5月31日に高柳順子 氏（三島市広報戦略アドバイザー）が市制70周年記念マスコットキャラクターである『みしまるくん・みしまるこちゃん』のデザインを提供。

6月1日に諏訪部三島商工会議所会頭が事業に賛同、さらに商工会議所の副会頭など役員6社が費用負担。

2 プロジェクトのスキーム

義援金をはじめとする社会貢献に対するお礼の“みしまるくん”“みしまるこちゃん”のステッカーを15,000枚作製。

「ステッカー = もらえてうれしい + いつの間にか社会貢献」

① 募金のお礼にステッカーをプレゼント（募金は続けることに意義があります）

② ステッカーは協賛企業を募って作成するため、三島市が推進している市民、NPO、事業者と行政が協働でまちづくりを進めるひとつの契機になります。

→市民が一体となってこの事業を進めて行くことで、がんばる三島、そして日本を応援します。

記者会見資料



三島市

せせらぎと緑と元気あふれる協働のまち・三島 ～環境と食を大切に～

3 用 途

東日本震災からの復興のための義援金を募り、そのお礼にプレゼントする等、各募金団体において自由に使ってもらいます。

4 配 布 先

小中学校（P T A連絡協議会）、市社会福祉協議会、市福祉総務課、活動団体

5 協賛企業

丸善工業 株式会社

株式会社 万城食品

三島信用金庫

伊豆箱根鉄道 株式会社

石渡食品 有限会社

合資会社 三島印刷所

※今後も協賛いただける企業があれば追加で作製していきます。

6 ステッカーのサンプル（大きさは、名刺サイズ）



7 今後の予定

7月1日までにステッカーが完成し、同日開催のP T A連絡協議会役員会において事業説明を行います。

以降、各団体にステッカーを配布し、義援金を募ることになります。

三島市企画部 政策企画課

企画・土地政策係 岡崎、長野

TEL 055-983-2616（直通）

FAX 055-976-3155

E-mail seisaku@city.mishima.shizuoka.jp



三島市緊急経済対策の各事業（Ⅰ～Ⅴ）

Ⅰ 10%プレミア付き商品券「あきんどくん元気クーポン券」発行事業概要

1. 目的

東日本大震災及びそれに係る計画停電等に端を発した消費の冷え込みにより市内小売業者の経営状況が逼迫しているため、まずは三島市が元気を取り戻さなければ被災地への支援も出来ないことから、緊急の経済対策として、1割のプレミアムが上乘せされた商品券「あきんどくん元気クーポン券」を発行し、市民の消費行動を喚起し市内商業の活性化及び家計への支援を図る。

2. 発行事業の概要

- | | |
|------------|---|
| (1) 事業実施者 | 三島商工会議所（市補助事業） |
| (2) 発行総額 | 220,000,000円（@1,000円×11枚綴り×20,000冊） |
| (3) 販売金額 | 総額200,000,000円（10,000円×20,000冊） |
| (4) 販売期間 | 平成23年7月19日（火）～平成23年7月29日（金） 完売次第終了 |
| (5) 販売会場 | 三島信用金庫本店及び市内全ての支店 計8ヶ所
（平日のみ、9:00～15:00） |
| (6) 使用期間 | 平成23年 7月19日（火）～平成23年 8月31日（水） |
| (7) 換金期間 | 平成23年 7月19日（火）～平成23年 9月30日（金） |
| (8) 換金場所 | 三島商工会議所（平日、9:00～17:00） |
| (9) 取扱店 | 申請登録された市内の店舗・事業所等 |
| (10) 購入限度額 | 1人1回上限5冊まで販売 つり銭は出さない |
| (11) 使用制限 | 金券等の購入・交換、公共料金・医療費等の支払い、2次利用、サービスなき換金の禁止 |

3. 中小小売店舗等におけるクーポン券利用促進

(1) ダブルプレミアム

抽選で400名に5,000円をキャッシュバック

(2) トリプルプレミアム

各商店会によるタイアップセール等の実施

- ① 一番町商店振興会 : 30名に1,000円分の商店会商品券が当たる抽選会。
- ② 芝本町商店振興会 : 70名に最高10,000円分のクーポン券が当たる抽選会。
- ③ 広小路駅前商店会 : 100名にクーポン券が当たる抽選会。
- ④ 三島大通り商店街 : 280名に総額100万円の商店街商品券が当たる抽選会。
（中央町、小中島、大中島）
- ⑤ 下田街道おもてなし委員会 : 70名に現金2,000円が当たる抽選会。
（大社前、大社町）

4. 市補助金額

27,000,000円

Ⅱ 雇用対策

東日本大震災を起因として、三島公共職業安定所管内の雇用情勢が急速に悪化し、4月の有効求人倍率が過去最低値である0.39倍となった。

この事態を受け、三島市長、三島商工会議所会頭、三島公共職業安定所長の連名による「求



人提供の依頼文」を市内事業所へ配付し、雇用の協力をお願いした。(35社)

また、市が中小企業を対象とし配信しているメールマガジンや、企業立地推進課との連携による企業訪問においても同様に雇用の協力を依頼している。(6月24日現在 40社)

Ⅲ 節電対策

東日本大震災の被害により東京電力供給エリアにおける電気需給のバランスが崩れたため、家庭や事業所における節電の取組が緊急の課題となっている。

国(関東経済産業局)は東京電力供給エリア1都8県において、中小事業者などを対象とした電力需給対策セミナーを実施しており、県内では6月14日(火)に沼津市で開催された。また静岡県でも県内東部・伊豆地域において事業者向け節電セミナーを実施しており、6月17日(金)には三島市内で開催された。

三島市においても、東京電力(株)三島支社より講師を招き、商店等で実施可能な節電への取組について講演を行う。

①三島商店街連盟通常総会での説明会

日時：6月16日(木) 総会終了後

場所：三島商工会議所

②三島商工会議所通常議員総会での説明会

日時：6月27日(月) 総会終了後

場所：みしまプラザホテル

③大通り商店街(本町大中島商店会、本町小中島商栄会、中央町商店会)

日時：6月27日(月) 19時30分～

場所：市民活動センター会議室

④下田街道商店街(大社前商店会、大社町商工振興会)

日時・場所：未定

Ⅳ 制度融資の拡充

①三島市災害対策資金貸付金利子補給補助金

静岡県の「中小企業災害対策資金」を借り受けた事業者に対する利子補給制度

対象額 2,000万円まで

補給率 0.8%

補給期間 2年間

②経済変動特別対策資金利子補給補助金(通称：マル経)

日本政策金融公庫の「小規模事業者経営改善資金」を借り受けた事業者に対する利子



補給制度

対象額 1,000万円まで

補給率 1.0%

補給期間 2年間

※中小零細企業対策として実施

[I～IV 問い合わせ先]

商工観光課

電話 055-983-2655

V 「三島市住宅リフォーム事業」助成制度概要

1. 目的

緊急経済対策として、市内の住宅関連産業を中心とする地域経済の活性化を図るとともに、既存住宅の耐久性及び安全性を高め、居住環境の向上を促していくため、市内施工業者に住宅のリフォームを発注する者に対し、その費用の一部を補助する。

2. 制度の概要

(1) 補助対象者

住宅のリフォーム工事を発注する者

(2) 補助対象住宅

補助対象者が所有し、市内に存する住宅（賃貸アパート等は除く）

※ 分譲マンション等の場合は、専有部分、併用住宅の場合は住宅部分が対象

(3) 補助対象工事

市内に主たる事務所を有する法人又は個人の自営業者が施工するリフォーム工事

・増築・改築

住宅部分の増築工事・改築工事

※ 増築部分のみで独立した住宅の増築は対象外

・修繕など

住宅の耐久性、安全性、居住性を高める工事又は環境負荷軽減に配慮した工事

例：床、壁、天井の断熱工事、外壁、室内、屋根のリフォーム工事等

※ 造園工事、外構工事、家電製品の購入費等は対象外

(4) 補助対象経費

リフォーム工事に要する経費が10万円以上の工事

(5) 補助対象金額

補助対象経費の10%で、10万円が上限（千円未満切り捨て）

(6) 注意事項

・補助申請は、1つの住宅について1回限り

・他の制度で補助の対象となった工事は除外

・補助事業は、必ず、着手前に申請が必要となります

[V 問い合わせ先]

建築指導課

電話 055-983-2644



障がい者就労支援事業

生涯学習センター 1 階への物品販売ブース設置

1 概要

市内障がい者施設で製造された物品等について、市民生涯学習センター 1 階に販売ブースを設け、障がい者の就労の機会を創出します。

販売品目：パン・弁当・ジャム・竹炭・キーホルダー・缶バッジ等

2 名称

三島市障がい者就労支援きょうどう隊のお店『すてっぷ』

3 開設日（オープニングセレモニー）

平成 23 年 7 月 15 日（金）11:00～

4 営業時間等

午前 10 時 30 分～午後 4 時（毎週火～金曜日営業）

5 運営

市内にあるすべての就労支援事業所の共同運営

就労継続支援 B 型事業所「ふくろう」

就労継続支援 B 型事業所「まごころ」

就労継続支援 B 型事業所「さわじ作業所」

けるん就労移行支援事業所「ゆめのこ」 ほか



(参考) 今後、生涯学習センター 2 階に障がい者就労支援事業所による喫茶事業を行うための屋外カフェスペースを設置予定

[問い合わせ先]

生涯学習課 電話 055-983-0881

障がい福祉課 電話 055-983-2612



被災地への職員長期派遣

派遣先 : 岩手県山田町へ派遣予定
派遣職員 : 政策企画課 主任 鈴木 啓司 (43歳)
派遣期間 : 7/1～10/31 (4ヶ月)
業務内容 : 応急仮設住宅入居関連事務ほか
派遣根拠 : 地方自治法第252条の17による派遣

- 三島市としては初の長期派遣。
- 派遣にあたっては、直接岩手県山田町と職員派遣協定を締結。
- 地方自治法第252条の17による派遣要請のため、山田町職員としての身分を有することになる(三島市との併任)
- 同時期に静岡市の技術職員(建築技術・土木技術)とともに山田町の建設課職員として業務従事する予定。
- 業務内容は、応急仮設住宅に関する受付、入居、維持管理、生活利便対策、住環境改善対策、移転推進施策の展開、自立支援など。状況によってはこの他の業務に回る可能性がある。

[問い合わせ先]

人事課

電話 055-983-2617

三島市の人的支援(職員派遣)状況

※6/20現在。派遣予定者含む

市町名	期間	派遣先	職種	人数	内容
三島市	3/11 ~ 3/15	福島県福島市	消防士	5	緊急消防援助隊
	3/14 ~ 3/18	福島県福島市	消防士	5	緊急消防援助隊
	3/16 ~ 3/17	宮城県仙台市	事務職	3	物資搬送、災害対応支援、被害状況調査
			技術職(建築)	1	
			消防士	2	
	3/17 ~ 3/21	福島県福島市	消防士	5	緊急消防援助隊
	3/20 ~ 3/24	福島県福島市	消防士	5	緊急消防援助隊
	3/23 ~ 3/27	福島県福島市	消防士	5	緊急消防援助隊
	3/26 ~ 3/30	福島県福島市	消防士	5	緊急消防援助隊
	3/31 ~ 4/4	宮城県山元町	水道	2	応急給水支援(日本水道協会からの要請)
	4/3 ~ 4/7	宮城県山元町	水道	2	応急給水支援(日本水道協会からの要請)
	4/7 ~ 4/9	岩手県遠野市、釜石市	事務職	2	物資搬送、災害対応支援、被害状況調査
	4/18 ~ 4/19	岩手県釜石市	事務職	4	物資搬送、災害対応支援、被害状況調査
	4/21 ~ 4/30	岩手県山田町	技術職(建築)	1	県現地支援調整本部(第5陣)
	4/29 ~ 5/4	岩手県山田町	保健師	1	県要請による保健師派遣
	5/5 ~ 5/14	岩手県山田町	技術職(土木)	1	県現地支援調整本部(第7陣)
	5/12 ~ 5/21	岩手県山田町	事務職	1	県現地支援調整本部(第8陣)
	6/4 ~ 6/8	岩手県山田町	保健師	1	県要請による保健師派遣
	6/16 ~ 6/25	岩手県山田町	事務職	1	県現地支援調整本部(第13陣)
	6/30 ~ 7/9	岩手県山田町	事務職	1	県現地支援調整本部(第15陣)
	7/1 ~ 10/31	岩手県山田町	事務職	1	地方自治法第252条の17による派遣
	7/14 ~ 7/23	岩手県山田町	事務職	1	県現地支援調整本部(第17陣)
	7/21 ~ 7/30	岩手県山田町	事務職	1	県現地支援調整本部(第18陣)
	8/4 ~ 8/13	岩手県山田町	事務職	1	県現地支援調整本部(第20陣)
	8/18 ~ 8/27	岩手県山田町	事務職	1	県現地支援調整本部(第22陣)
	1/4 ~ 2/29	岩手県山田町	保健師	1	県要請による保健師派遣



三島市行政経営戦略会議の設置

1 会議の役割と位置づけ

- (1) 将来都市像実現に向けた新たな政策の提言
- (2) 将来都市像実現に向けて実施している政策の手法への助言
- (3) 市長が必要と認める事項

※「行政運営（行革）」については「行政改革市民懇話会」が設置されており、また「財政運営」については民間による「事業仕分」を実施する予定であるため、この会議では、あくまでも政策の提言又は助言とする

※本会議は地方自治法第138条の4第3項に基づく審議会や審査会ではなく、行政運営上の「会議」として位置づける。

2 会議の構成員（予定）

【構成員候補】 交通費のみ支給するが、無報酬で参加

- ①全日本空輸㈱ 常勤監査役 大川澄人氏（前 一般財団法人 日本経済研究所理事長）
- ②青森大学社会学部教授 見城美枝子氏
- ③財団法人 静岡経済研究所研究部長 大石人士氏
- ④静岡県立大学教授 経営情報学部大学院教授 西野勝明氏
- ⑤三島信用金庫 サポート営業部 大村貴之氏
- ⑥財団法人 企業経営研究所から1名

3 会議の日程及び進め方

(1) 年度計画

総合計画を中心に各課が実施している事業を説明し質疑応答、意見交換を行い、政策提言を受ける。総合計画全体では範囲が広いため、4つの基本目標を年度計画により提言してもらう予定。

- ① 安全・安心に暮らせるまち
- ② 活力のある住みやすいまち
- ③ 環境を保全し人と文化を育むまち
- ④ 協働で進める自立したまち

(2) 年間スケジュール（各回90分～120分程度とする）

	時期	内容
第1回	7月下旬	構成員依頼、総合計画説明、「安全・安心に暮らせるまち」づくりにむけ、経済状況等を踏まえての意見交換 ほか
第2回	8月下旬	関係部署説明 「安全・安心に暮らせるまち」づくり施策について ほか
第3回	10月下旬	質疑応答、市長へ提言（市長）
第4回	1月下旬	シンポジウム

[問い合わせ先]

政策企画課

電話 055-983-2698



女性まちづくり講座の開催

女性が市の政策・方針決定の場へ参画するため、また自分自身をステップアップ、スキルアップさせ、地域のリーダーとなることを目的に、意識の高揚や必要な知識・技法を身につけるための連続講座を開催する。

◆日時及び講座内容

第1回：平成23年7月29日(金) 13:30～16:00

講義・市の財政、まちづくり等について学び、市の課題を考える

・男女共同参画の視点を持って審議会委員として活躍するためには

第2回：平成23年9月2日(金) 13:30～16:00

講義とワークショップ (政策提言とは) 等

第3回：10月中旬

講義とワークショップ (現状分析の方法) 等

*先進地視察の場合もあり

第4回：12月中旬

講義とワークショップ (課題の洗い出し方法) 等

第5回：平成24年2月中旬

経過発表、市長及び市中堅職員との意見交換会

◆会場：本町タワービル4階 市民活動センター 第1・2会議室

◆対象：30～50代の市内在住の女性

◆参加予定者数：22人

◆講師：静岡大学人文学部法学科 日詰 一幸教授

◆1年間5回、2年間で完結、計10回

[問い合わせ先]

政策企画課

電話 055-983-2616



「ボンジュールみしまコロッケ」セレモニー開催

毎年7月1日は、みしまコロッケのお誕生日。

この日から認定店で一斉に販売が開始されます。(6月3日現在の認定店は943店)

今年もみしまコロッケのお誕生日を祝うイベントが開催されます。

日時 平成23年7月1日(金) 午前11時～(富士山開山式終了後)

場所 三島駅南口駅前広場(富士山開山式と同会場)

内容 ・会場には、「みしまくん・みしまこちゃん」も来ます。

・クレシェ&小坂真智子による「みしまコロッケンロール」の披露

・みしまコロッケの無料配布(100個)

・じゃんけん大会 じゃんけんに勝つと、三島馬鈴薯をプレゼント

・市内認定店スタンプラリーの開始(スタンプラリー参加店33店)

異なるお店で、みしまコロッケを購入または食べて、3個のスタンプを集めると、みしまコロッケのマグネットを1個贈呈。限定500個。

7/1～8/31まで。マグネットが無くなり次第、終了。

市役所商工観光課または三島市観光協会にて交換する。

スタンプカードは参加店に置くとともに、切り取ってそのまま使用できるカードを広報みしま7/1号に掲載する。

当日「ボンジュールみしまコロッケ」会場に来た人にも、スタンプカードを手渡す。(来場特典として、1個スタンプを押印済み)

※ 「ボンジュールみしまコロッケ」とは・・・

コロッケはフランス語。

1年待った再開に「ボンジュール(フランス語でこんにちはの意)」と
言わずにはいられない。そんなお誕生日の合言葉です。

[問い合わせ先]

商工観光課

電話 055-983-2656



富士登山道開山式

- 名 称 富士登山道開山式
- 目 的 富士山の山開きを迎えるにあたり、登山客への歓迎の意と安全祈願を目的に実施する。
- 主 催 一般社団法人三島市観光協会（会長 山形 武弘）
- 日 時 平成23年7月1日(金) 10:00～11:00（雨天決行）
- 会 場 JR三島駅南口
- 式次第 (1) 開 式
(2) 安全祈願（三嶋大社神職）
(3) 会長挨拶
(4) 来賓挨拶
(5) 閉 式
(6) 奉納踊り（浅間神社氏子会婦人部による農兵節、三島音頭）

※富士登山道開山式は、昭和49年から実施しています。

[問い合わせ先]

商工観光課

電話 055-983-2656



「7月1日は【三島馬鈴薯の日】と決めました！」

初夏が旬の三島馬鈴薯の季節が到来します。手間ひま掛けて出荷される三島馬鈴薯「メーカーイン」は、出荷期間が短く7月の約一ヶ月のみです。この時期しか味わえない三島ブランドの逸品を食し、「旬の食材を旬の時期に食する」旬産旬消を広めるべく三島市・三島函南農業協同組合馬鈴薯部会では、7月1日を【三島馬鈴薯の日】と定め、下記のとおり各行事を実施します。

記

1 7月1日実施行事

(1) 学校給食で三島馬鈴薯の日

7月1日を「三島馬鈴薯の日」として、提供した三島馬鈴薯を使った献立を各校で考案していただき、市内小中学校の子供達が一斉に三島馬鈴薯を食べる日とする。

- ① 実施日：7月1日（金）
- ② 学校数：小学校14校、中学校7校
- ③ 児童数：9,256人
- ④ 使用量：805kg
- ⑤ 献立名：別紙資料のとおり

(2) 旬を味わおう～ここで食べられます！うみや一箱根西麓三島野菜～

7月1日から市内の飲食店で、三島馬鈴薯をはじめ旬の箱根西麓三島野菜を使用した料理、スイーツなどを味わえる夏のグルメキャンペーンを行います。

- ① 実施日：7月1日（金）～9月30日（金）
- ② 実施店：市内飲食店 26店舗 別紙資料のとおり

2 実施内容（予定）

① 懸垂幕PR

設置場所：三島駅前時計塔、三島市庁舎、三島商工会議所、
三島市消防庁舎（国道1号線沿い）

② 伊豆箱根鉄道でのPR

設置場所：電車内中吊り広告（電車ジャック、1車両すべてを三島馬鈴薯広告）
各駅構内でのポスター掲示

③ 三島馬鈴薯の直売、インターネット販売【7/5（火）より】

- ・直売場所：JA三島函南農産物直売所フレッシュ 錦田店にて直売開始
※「2009 グットデザインしずおか大賞」を受賞した贈答箱で宅配販売
- ・ネット販売：JA三島函南 (<http://www.ja-town.com/shop/f/f0/>)

④ ミニコミ誌“美味しい三島”での三島馬鈴薯特集（7月初旬発行予定）



- ⑤ FMボイス・キュー「箱根西麓三島野菜ブランド：ラジオ番組“美味しい三島”での三島馬鈴薯特集（7月初旬放送開始）
- ⑥ 三島馬鈴薯の新聞広告掲載（6月18日（土）静岡新聞朝刊に掲載済）
- ⑦ 三島市ホームページ「旬産旬消」、広報みしまでのPR、SBSラジオ出演

【三島馬鈴薯とは？】

昭和30年頃から箱根西麓では、その水はけの良い肥沃な火山灰土壌を活かし、馬鈴薯の生産が始まりました。そして昭和45年頃、新しく導入された「メイクイン」と箱根西麓の土とが運命的な出会いをします。生産者も驚くほど“キレイで美味しい”メイクインが収穫できたのです。『三島馬鈴薯』には四半世紀以上の伝統と歴史があります。

三島馬鈴薯は、自慢の肌に傷がつかないように丁寧に手掘りで収穫します。掘り取り後は、畑に広げ天日干しし、ホウキやハタキで土を落とします。それから「風乾」といって風通しの良い日の当たらない場所で乾燥・熟成させます。こうすることで、甘味が増し、長く日持ちするようになります。

[問い合わせ先]

農政課

電話 055-983-2652

平成23年7月1日 各学校給食献立資料

	7月1日(金)使用		
学校名	数量(kg)	児童数(人)	献立名
東小	23	385	粉ふき芋
西小	20	381	じゃが芋の味噌汁
南小	45	541	粉ふき芋
北小	64	688	じゃが芋とウインナーのトマト煮
錦田小	80	673	肉じゃが
徳倉小	36	394	肉じゃが
坂小	13	94	メキシカンポークソテー
佐野小	33	333	じゃが芋とウインナーのトマト煮
中郷小	35	433	手作りみしまコロッケ(なかざとこりりん)
沢地小	25	252	じゃがいものそぼろ煮
向山小	46	698	じゃがいものそぼろ煮
北上小	31	384	粉ふき芋
山田小	46	555	粉ふき芋
長伏小	37	359	メキシカンポークソテー
錦田調理場	57	922	じゃが芋ととうがんの煮物
北調理場	114	1,118	コーンポテト
中郷西調理場	100	1,046	コーンポテト
合計	805	9,256	

平成23年度 箱根西麓三島野菜「料理」「スイーツ」「飲料」提供店一覧

No.	分類	店名	住所	電話
1	飲料	千歳屋	本町13-1	055-975-3646
2	飲料	興水酒店	広小路8-14	055-975-0579
3	飲料	リカーショップ おおいし	緑町20-9	055-973-0464
4	スイーツ	ロイヤル	南二日町20-16	055-972-5171
5	スイーツ	兎月園	中央町3-40	055-972-2366
6	スイーツ	ベルーン	大社町18-3	055-975-0616
7	スイーツ	カフェレストラン セゾン	本町14-31(みしまプラザホテル1F)	055-976-2303
8	料理	山本食品 門前せせらぎ店	大社町1-28	055-983-1108
9	コロッケ	山本食品 門前薬庵(コロッケスタンド)	大社町18-2	055-983-4701
10	料理	和食蒲焼 高田屋	本町1-41	055-975-0495
11	料理	旨いもの処 丸平	中央町4-16	055-975-0068
12	料理	ハートフルダイニング おんふらんす	芝本町1-1 三島NKビル1F	055-991-5670
13	料理	らーめん煌 -FAN-	一番町12-20	055-972-7703
14	料理	中国広東料理 抜天	本町14-11	055-971-3789
15	コロッケ	Café & Bakery グルッペ	本町2-27	055-973-1153
16	コロッケ	桃中軒	一番町16-1	055-975-2828
17	コロッケ	大村精肉店	大社町2-27	055-972-2981
18	料理	イタリア厨房 ゴローゾ	中央町1-13 M3ビル1F	055-971-0567
19	料理	カフェレストラン アンフルール	緑町2-21	055-972-2888
20	料理	旬彩 さん太	本町7-12	055-973-9888
21	料理	割烹・和風レストラン 呉竹	本町6-35	055-975-3210
22	料理	割烹 登喜和	広小路町1-41	055-975-3312
23	料理	銀座塩梅 三島広小路店	本町7-27	055-973-8007
24	コロッケ	伊豆・村の駅	安久322-1	055-984-1217
25	スイーツ	麒麟	泉町14-10	055-973-1474
26	料理	パステリア地中海	広小路町13-3	055-972-3630



第61回 “社会を明るくする運動” ～犯罪や非行を防止し、

立ち直りを支える地域のチカラ～ 実施計画

- 行動目標 ①犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支えよう
 ②犯罪や非行に陥らないよう地域社会で支えよう
 ③これらの点について、地域社会の理解が得られるよう協力しよう
- 重点事項 『立ち直りを支える取組についての理解促進』
 『犯罪や非行をした人たちの就労・住居等の生活基盤づくり』

1 小・中学校児童・生徒ポスター展について

毎年市内の全小・中学校が参加し、優秀作品は展示・表彰をします。

- (1) 審査 6月8日(水) 午後1時30分～ 市社会福祉会館
 (2) 展示 7月2日(土)～15日(金) 市役所玄関ロビー
 7月16日(土)～24日(日) 日清プラザ2階展示スペース
 (3) 表彰式 7月2日(土) 午後1時30分 市社会福祉会館
 特別賞15点、入選27点、佳作43点を表彰(85点)

- ※特別賞 ①市長賞 ②静岡保護観察所長賞 ③市議会議長賞 ④教育長賞
 ⑤三島市自治会連合会長賞 ⑥三島市青少年健全育成会長賞
 ⑦三島市民生・児童委員協議会長賞 ⑧三島泉ライオンズクラブ会長賞
 ⑨三島ワイズメンズクラブ会長賞 ⑩三島美術協会会長賞
 ⑪三島地区保護司会長賞 ⑫三島地区更生保護女性会長賞
 ⑬三島地区協力雇用主会長賞 ⑭三島地区BBS会長賞
 ⑮三島地区保護司OB会長賞

※応募点数 1, 231点

2 広報啓発活動について

(1) 街頭宣伝

- ①日時 7月1日(金) 午後5時00分～
 三島市役所庁舎前駐車場において出発式(小雨決行)
 ②場所 三島駅南口、広小路交差点、イトーヨーカドー前
 ③参加者 推進委員約100名

- (2) 各種団体に啓発ポスター掲示を依頼
 (3) 懸垂幕を期間中、市役所本館に設置
 (4) 市広報みしま6月15日号に掲載
 (5) FMボイス・キュー及びびさくらチャンネルへ放送依頼



3 “社会を明るくする運動” 講演会について

- ①日 時 7月11日(月) 午後1時30分～
- ②場 所 三島市民文化会館小ホール
- ③講 師 佐治麻希(妙心)さん(伊豆市妙蔵寺副住職)
- ④演 題 「桜の花びらに祈りの心」

【佐治麻希(妙心)さん】

24歳。小学6年生の時、平和紙芝居「さだ子と千羽鶴」を制作。読み語りを始める。現在は北海道から沖縄まで全国で読み語りの依頼を受け、平和の祈りを語り伝えている。

4 一般公開ケース研究会について

- ①日 時 7月23日(土) 午後1時30分～
- ②会 場 市社会福祉会館 4階 大会議室ほか全館
- ③参加者 小・中学校PTA、更生保護女性会員、保護司ほか
- ④事 例 「夜遊びをやめないA男の場合」
「少年院から帰ってきたB子の場合」

5 サッカー大会について

- ①日 時 7月18日(月) 午前8時30分～
- ②会 場 南二日町人工芝グラウンド
- ③参加者 三島市・函南町のサッカースポーツ少年団
12チーム300人参加予定

6 施設訪問について

- ①日 時 7月27日(水) 午前8時45分 市役所集合
- ②見学先 駿府学園、静岡少年鑑別所(静岡市)
- ③参加者 小・中学校PTA、教育関係者、保護司ほか

[問い合わせ先]

福祉総務課

電話 055-983-2610



「七夕夜市」の開催

- 1 名称 本町大中島商店会 七夕夜市
- 2 日時 平成23年7月2日(土)、3日(日) 17:00～20:45
- 3 場所 三石神社境内、本町大中島商店会各店
- 4 特徴 家族連れの来場者でにぎわい、チラシ配布や広報みしま等でのPR効果のためか、来場者が年々増えてきており、去年は約4,500人が来場しました。
恒例となった子供たちによる七夕笹飾りや空クジなしのお楽しみ抽選会が祭りを盛り上げてくれるほか、子供たちに人気のもちつきや金魚すくいなども行われます。
- 5 内容
 - 大中島子供会や市内幼稚園、保育園、商店街に買い物に来てくれた子供たちが飾りつけをした七夕笹飾りの展示
 - お楽しみ抽選会（温泉のペア宿泊券やお米、三島西麓馬鈴薯など豪華な商品を取り揃えています。空クジはありません。）
 - 射的ゲーム
 - 金魚すくい
 - 老人会による餅つき
 - 納涼うまいもの市
- 6 主催 本町大中島商店会
- 7 問合せ 本町大中島商店会 055-975-3210【呉竹(後藤氏)】

[問い合わせ先]

商工観光課

電話 055-983-2656



「夏休み子どもセンター」の開催

日時：7月29日（金） 場所：三島市民生涯学習センター

対象 幼児、児童、生徒とその家族（子どもだけの参加もできます。）

申込み・問合せ 7月15日（金）（消印有効）までに、ハガキまたはFAXで、氏名・住所・電話番号・年齢・希望の講座を記入の上、〒411-0035 三島市大宮町1-8-38 三島市生涯学習課生涯学習係（FAX983-0870、☎983-0881）へ申し込んでください。応募多数の時は抽選です。
絵を描こう・竹細工・お煎茶・折り紙は、当日先着順で、事前の申し込みは不要です。
（※年齢制限のあるイベントがありますのでご注意ください。）

時間	イベント名	内容	開催場所	定員	対象年齢	参加費
午前の部 10時～正午	楽しく習字を書こう ※1	宿題（課題）を楽しんでいろいろ書いてみよう	5階 第1・2・4研修室（持ち物：習字道具一式・半紙）	30人 要申込	小中学生	無料
	絵を描こう	楽しく画用紙いっぱい絵を描こう	5階 美術室（持ち物：絵の道具一式）	30人 先着順		無料
	パソコンでお絵描き	パソコンのキーとマウスで動物や花を描こう！	5階 パソコン室（持ち物：筆記用具）	15人 要申込		無料
	竹細工を作ろう	カラス笛やブンブンを作ろう	5階 手芸室（持ち物：タオル、あればナイフ）	20人 先着順	小学3年以上	無料
	折り紙を楽しもう、遊ぼうよ（折り紙）※2	くちびるやおしゃべりすずめを折ってみませんか	5階 ミニギャラリー	申込不要 人数制限なし		無料
午後の部 1時～3時	お煎茶を楽しもう	ご挨拶やお作法を楽しく学びましょう	5階 和室	30人 先着順		100円
	不思議な貯金箱を作ろう	不思議な貯金箱を作っておこづかいを貯めよう！	5階 第4研修室	20人 要申込		100円
	ライトプレーン飛行機を作って飛ばそう ※3	材料を組み立て、ゴムを巻いて飛ばしてみよう	3階 多目的ホール	30人 要申込	小中学生 1・2年生は 親同伴	200円

※1 「楽しく習字を書こう」は、小中学生対象。開催時間は10:00～11:30です。

※2 「折り紙を楽しもう、遊ぼうよ（折り紙）」は、10:00～15:00です。

※3 「ライトプレーン 飛行機を作って飛ばそう」は、小学生以上が対象（小学2年生以下は親子でご参加ください）。

その他：対象年齢が空欄のところは、
幼児・小学生・中学生が対象です。

[問い合わせ先]

生涯学習課

電話 055-983-0883



「わんぱくフェスタ in 児童センター」の開催

と き 7月31日(日)

ところ 児童センター(生涯学習センター2階)

対 象 幼児、児童、その家族等どなたでも(幼児は保護者同伴)

※なるべく小学2年生以下のお子様には保護者が同伴してください。

申込み 事前申込みは不要です ※材料がなくなり次第、終了となるイベントもございます

問合せ 児童センター(Tel.983-0883)

●午前10時～ オープニングセレモニー

●午前の部(オープニング終了後～正午)

イベント	場所
・超簡単!ビーズキーホルダー:1個50円(親子クラブ) ・エコエコ絵本リサイクル(親子クラブ)	軽運動室
・クルクルミラクル宇宙:無料	遊戯室
・ガールスカウトコーナー(ガールスカウト三島地区連絡協議会)	児童センター入り口付近

●午後の部(午後1時～3時30分)

イベント	場所
・フルーツパフェのチャームを作ろう:1個200円(りぼんクラブ)	軽運動室
・スーパーどろだんご:1個50円(児童センターサポートクラブ)	遊戯室
・ガールスカウトコーナー(ガールスカウト三島地区連絡協議会) ・エコエコ絵本リサイクル(親子クラブ)	児童センター入り口付近

☆ いろいろなチャレンジゲームを用意します!達成できた人にはわたがしをプレゼント!

☆ エコエコ絵本リサイクルで交換する本を募集しています。

募集期間:7月28日(木)まで 募集するもの:絵本・児童書(漫画は対象外)

児童センターに直接お持ち下さい。ご協力お願いいたします。

[問い合わせ先]

生涯学習課

電話 055-983-0883